

10.24 反核大阪50万人集会の成功 をバネに 秋季大攻勢へ！

派遣団員の感想文

日刊 動労千葉

82. 10. 30
No. 1183

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五〜六・(公衆電話)22七二〇七

「八二年反核・軍縮・平和のための大阪五〇万人行動」は(日刊一一八一号で報告の通り)圧倒的成功をおさめた。今秋、とりわけ十・一一、三里塚四五〇名の決起を突破口に十・二一反戦闘争三〇〇名へとうけつぎ、十・二四にのぼりつめ、ついに全力で取り組んだ十月三里塚反戦・反核総行動の画期的成功をかちとつた。

いま日帝は、軍事大国化・改憲にむけたますます激しい反動攻勢をもって戦争への道を突き進んでいる。そしてそのために、労働者に一切の犠牲を押しつけ、公務員には「人動」の凍結、公団の労働者には「仲裁の未実施」の攻撃がかけられている。

動労千葉は組合員の血のじむようなカンパを通して六二名の「代表団」を編成し、文字どおり十・二四反核大阪行動第二会場の最先頭で闘い抜いた。

日刊動労千葉は、十・二四大阪行動に参加した二名の組合員の感想文を紹介する。

新小岩支部
M君

森の宮駅でおりると人の列が延々と続く。ちょうど五・二三の原宿駅のようにだ。反戦・反核運動が、軍事大国化・改憲攻撃のつよまりの中で、しっかりと根づいたことを感じた。しかも三里塚芝山連合空港反対同盟を先頭に、三里塚を闘う勢力がガッチリとこの集会を牽引していることが、この反核運動の闘う基軸となつていて実感した。

三里塚一國鉄決戦勝利へ！
今こそ動労千葉の真価を

反対同盟の北原事務局長の二期決戦にむけた決意が圧倒的な拍手で確認された。ここに反戦・反核の闘いの発展の核心もあるのだと思つた。

十・一一〜十・二一〜十・二四と三里塚・反戦・反核の闘争の高揚の中で国鉄労働運動をめぐる決戦もおとずれる。「冬の時代」だから今は闘えないという動労「本部」革マルを粉碎し、動労千葉の闘いの真価が今こそ求められると思つた。



侵略と差別に反対する広場に結集した数万人の人に「革マル一掃・三里塚軍事空港粉碎」を力強く訴える三里塚芝山連合空港反対同盟・北原事務局長。(10・24 大阪城公園)



「国鉄攻撃に勝ちぬく核心点は、三里塚闘争の勝利にある」
62名の動労千葉派遣団を代表して関川委員長が決意表明。
(独自集会一左より、加辺・関川・渡辺・永井の各氏)

ますます頑張ろう、と思つた

幕張支部 K君

十・二四大阪反戦・反核集会に参加して感じたことは、大阪城を埋めつくした五〇万人もの労働者人民の偉大な決起と、三里塚を闘う労働者人民が中心となり、この反戦・反核集会を最先頭で戦闘的に闘い、集会を勝利させたといえます。

そして集会は強い風のため、横断幕があちこちで破れたりしましたが、動労千葉の横断幕は破れずに唯一残りました。この横断幕を支えた一人として、これからの風にも雨にも負けぬ強い組織力と団結力で動労千葉をますます発展させたいと思ひ、最後まで十・二四大阪行動を貫徹してきま

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

57.リダイ改阻止。動労千葉
三六破棄一非協力
闘争実施中

動労千葉闘争指令2号(10月26日)